令和元年　第１回　定例会－06月20日-03号

◆二番（小林あすか　君）　区議会江戸川クラブあたらしい党の小林あすかです。

　質問に入る前に、一言申し上げます。

　先日の山形県沖を震源とする地震により被災されました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております。

　令和元年第一回江戸川区議会定例会一般質問をさせていただきます。新人ではございますが、この場に立つことの責任と使命を重く受け止め、しっかりと尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

　私は、かねてより、働く女性、働く母の声を届けると公言してまいりました。私もこの江戸川区で仕事をし、妊娠、出産、育児をする一人の母親でございます。時代や環境が変化してきたとはいえ、女性や母親が社会に出るということは、やはり経験してきた者にしかわからない苦労があると思っております。

　江戸川区と言えば子育てしやすい街と、そういう評判を聞き、区内には多くの若い家族が越してきております。実際、ほかの区とは違う、様々な助成に、私たち子育て世帯は大変助けられております。これはひとえに、これまでの前多田区長をはじめとする多くの関係者各位の皆様の多大なる努力とご配慮のおかげだと思っております。ありがとうございます。

　しかしながら、区民の生活は、時と共に日々変化しております。そのため、今の子育て世代の声を聞くことも大変重要と考えます。

　はじめに、すくすくスクールについて三点質問いたします。

　江戸川区における女性の働き方は、近年どんどん変わってきております。専業主婦家庭は急速に減少し、子供を持つ家庭に限っても、江戸川区子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査によれば、専業主婦家庭はこの十年で全体の約六〇％から約三〇％、三割まで急激に減っております。この流れは、女性活躍推進を進める国、そして区のもとで、今後ますます進んでいくことが大いに予想できます。江戸川区独自の放課後保育であるすくすくスクールの重要性、需要度もますます増えてくるでしょう。

　しかしながら、現在のすくすくスクール内における学童の預かりは、働く母親のいる家庭の状況を理解し、対応しているものとは言えません。江戸川区はその立地上、通勤時間がある程度発生いたします。同じ調査では、三十分以上の通勤時間を要する区民は八割に及びます。現在のすくすくスクールの十八時終了に合わせ、子どもの出迎えやお迎え、帰宅を考えると、親は十七時過ぎには仕事を終わらせないといけません。これは現在の親御様たちの働き方に沿うものではございません。

　現在、すくすくスクールの利用者の五人に一人以上が延長を望んでおります。隣接する江東区では、当初、これと同じ割合の希望者の声を聞き、寄り添い、十九時まで延長したところ、現在では十九時までの利用者は全体の四割近くまで及んでおります。ほかにも二十三区内の多くの区で、学童民営化の推進と共に、時間延長を取り入れております。

　現在、江戸川区内で十八時以降までの預かりを希望する家庭は、すくすくスクールと併用し、ファミリーサポート制度や民間の学童保育、学習塾などを利用しております。これは、学校からすくすくスクール、すくすくスクールからほかの施設へと、まさに子どもたちをたらい回しのように移動させ、子どもたちにとっても家族にとっても、精神的、体力的に負担であります。

　また、それぞれの施設ではもちろんある程度の料金が発生するために、かえって経済的な負担となり、就業自体を諦める家庭が多いのも事実でございます。実際、平成二十二年の国勢調査では、江戸川区内の三十代、四十代、いわゆる子育て世代と言われる女性の就業率が、そのときだけ一時的に落ち込んでおります。

　江戸川区は、働く母親のいる家庭や、シングルマザー、シングルファザーの声が届きにくいという声も多く聞いております。斉藤区長におかれましては、様々な場面ですくすくスクールの時間延長の検討を公言されております。私たち子育て世代の声に寄り添ったものだと感じております。

　そこで、すくすくスクールは十九時までに延長すべきと考えます。

　また、長期休暇においては、先日、朝八時半まで時間を延ばしていただき、大変感謝しているところではございますが、八時半開始ではなく、通勤時間を考慮し、区内の保育施設などと同じ七時半開始にすることが、現在の江戸川区民の働き方と需要を考えた上で大変合理的であると考えますが、区の見解をお伺いいたします。

　あわせて、すくすくスクールのあり方については、需要をはかる際に、就業する区民の勤務時間だけではなく、通勤時間を考慮したものにすべきと考えております。そうした点を考慮してきたのか、また、今後そうした点も考慮に入れていくつもりはあるのか、区の見解をお伺いいたします。

令和元年決算特別委員会（第７日）－10月08日-07号

◆小林あすか　委員　すくすくスクールで２点、ＰＴＡのあり方で１点ご質問いたします。私が着任する前からすくすくスクールの時間延長に関しては、さまざまなところで審議でしたり、ご意見が来ているところを伺った上で再度お伺いいたします。現状すくすくスクールの中にある学童保育で預けられる時間は夕方は１８時までとなっておりますが、これに関して、江戸川区は今後延長をすることを考えているかどうか、お伺いいたします。

◎柴田靖弘　教育委員会事務局参事〔教育推進課長事務取扱〕　今、お問い合わせの今年の夏休みから朝の時間は９時から８時半に早めたということを今取り組んでいきましたけれども、その他その学童クラブの運営時間についての延長というお話ですが、これは令和元年の定例会でも区長から答弁していただきましたけども、今後研究をしてまいりたいということで今臨んでいるところでございます。

◆小林あすか　委員　この件に関して、ちょっと少しお話しさせていただきます。　私も先ごろの選挙で当選させていただきましたが、まずこの場に私のように働きながら育児をする母親の当事者が、とうとう区議会まで来たというところにぜひここに着目していただきたいです。現状の江戸川区、たくさんいろいろな子育て支援をやられているけれども、それに対してやはり当事者として、なかなか声が届いていないというところの具現化だと私は一つ思っております。そういったところですね。私も実際にすくすくスクールに子どもを学童保育ということで預けておりますが、この江戸川区役所に勤めている私ですら６時のお迎えに慌てていくことがございます。江戸川区に勤めていて江戸川区のすくすくスクールにお迎えに行く私ですら、間に合わないことがございます。中には、お迎えに行かなくても６時で一人で小学校、小学生なので帰せばいいじゃないと思われる方もいらっしゃると思うんですけれど、ぜひ今日の６時に江戸川区内がどれぐらい暗いかをぜひ感じていただきたいです。小学生といっても、たくさんいろいろな子どもたちがいます。性格も違います。月齢が違えば１年、同じ１年生でも４月生まれと３月生まれでは大きく違います。昨今さまざまな事件が言われている中、やはり保護者の方がこの間までは手をつないで、一緒に保育園や幼稚園から帰っていた子どもが、たった１カ月、３月から４月になった途端一人で帰りなさいという現状、これが不安だというところが私たちの保護者の、ぜひ当事者の声だと思ってください。こうなったときにどうするかというと、私が考えた方法は四つです。まず子どもが成長するか。お母さん大丈夫だよ、僕は一人で帰れるよ。二つ目。保護者が妥協するか。仕事のやり方を変える、時短にする、職場を変える、やめる。もう一つ。お金をかける。やはり、たくさんの方が今やってらっしゃいますが、ファミリーサポートでしたり、別の民間の保育所に預けたりとか。四つ目。地域や行政が変化を受け入れる、だと思っています。私はもちろん、先日の病児保育のときでも言いましたが、まずは社会が温かく変わっていくというところがゴールではあるとは思いますが、現状、それができていないこの江戸川区だったり、日本の社会ではやはり方法はこの四つしかないなと思っております。そういったところで、繰り返しますけれども、ぜひこの委員会の場に、私のような働きながら育児をする人が区民の声の代弁者として選ばれたというところにぜひちょっと少し意見というか、少し寄り添っていただいて考えていただきたいと思いまして、以上、延長の件に関しては要望として終わります。

令和２年予算特別委員会（第７日）－03月06日-07号

◆小林あすか　委員　今日も一日よろしくお願いいたします。

　私のほうからは、すくすくスクールに関して２点お伺いいたします。

　今までも、ずっとすくすくスクールの時間延長に関しては、さまざまな場所で議論されていることは既に私も存じております。今年度から、長期休業中の朝の時間を３０分早めていただいたこと、大変、保護者の方から助かったという声は、私のところにもたくさん届いている状態でございます。さらにさらにと、ちょっと言うのも大変心苦しいところではあるんですけれども、現在、すくすくスクールの中の学童保育、ふだんの時間１８時までというところなんですけれども、この１８時以降の時間延長に関してはどのように今、ご検討されているか、お伺いいたします。

柴田靖弘教育委員会事務局参事（教育推進課長事務取扱）　これまでも申し上げているとおり、今、人員の配置ですとか、そういったことも含めて検討させていただいております。

◆小林あすか　委員　なかなか、よく子育てしやすい街江戸川区というお話は聞きますが、子育てしやすいというのは保護者にとって子育てしやすいのか、それとも子どもたちにとっていい場所なのかというところで議論が多分されているかとは思うんですけれども、今、やっぱり核家族が江戸川区８割以上というところが多分恐らく問題にはなっているとは思います。結局、今、１８時でうまくやってらっしゃる方の多くは、おじいちゃん、おばあちゃんが実はお迎えに来ているとか、帰った後、おじいちゃん、おばあちゃんがいるというところで、うまくやってらっしゃる方が多くいらっしゃるんですけれども、その中でもやはりおじいちゃんおばあちゃんに頼めないという核家族の方がいらっしゃったり、いわゆるシングルのおうち、特にお母さんが働いている方にとっては、やはり女性という部分で勤務体制がすごく厳しい中、６時にお迎えに行かなくてはいけない、６時までには帰らなくてはいけないとなると、かなり早い時間に仕事を切り上げなくてはいけないというところにすごく不安を持たれているお母さんがすごく多いです。そうした方は、結局自分が働かなくてはいけないけれども、そうすると長い時間子どもを一人で家におかなくてはいけないというところにすごくやはり不安を感じている方が多いです。先ほど、臨時休校中にすくすくスクールと学童を使われている方、１、２年生が多いですというところからもわかるように、基本的にやはりまだ年齢が１、２年生、小さい方、小さいお子さまに対してですので、多分、皆様も子どもたちが一人で家にいること、一人で帰ることに対してはすごく不安は一緒かと思いますので、ぜひいろいろな議論があるかとは思いますが、８時までにしようとか９時までにしようとかいうわけではありません。現実問題１９時であれば、比較的、通勤時間を含めて工夫はできるのではないかという声も多く聞いておりますので、この辺ぜひ検討を続けていただければなと思います。

令和２年　６月　文教委員会－06月03日-02号

◆小林あすか　委員　今年度からよろしくお願いいたします。

　私も子を持つ働く親でございますので、このすくすくスクールや学童クラブの時間延長に関する陳情は大変共感するところがございました。ぜひとも陳情にあるように時間延長というところをぜひご検討をなるべく早くしていただきたいなというところがございます。

　ちょっとごめんなさい。今、検討中というところもたくさん、一般質問等の答弁も全て見ましたが、ここの陳情にある２番のところに、すくすくスクールの時間を両親の勤務時間に合う時間帯というところで、こちら陳情者の方から７時半から１９時ということでご提示をされているんですけれども、例えば江戸川区のほうで江戸川区に住んでらっしゃる保護者の方の勤務時間、何回かいろいろなアンケートされていると思うんですけど、勤務時間に関するデータというもの、どちらかにありますか。

◎飯田常雄　教育推進課長　すくすくスクールの学童クラブにご登録いただく際に就労証明いただいてございますので、そういった中で届出いただいている範囲内でございますけれども、就労の時間というのはある程度把握してございます。

◆小林あすか　委員　今、登録されている方のというところですよね。

　実際問題、結構多くの方が今民間の学童スクールに通わせている方もいらっしゃったりして、後は小学校に入るタイミングで時間をすくすくスクール、学童クラブが１８時までしかやってないので、勤務形態を変えられるという方もやはりある程度いらっしゃると思うんです。

　そういったところで、やっぱりちょっとどういった方法でも構わないんですけど、登録者の勤務時間帯ももちろん必要だと思うんですけれども、ある程度のあまねく就労されている保護者の実態をやっぱり調べる必要があるかなと思っています。というのはやっぱり民間の学童保育が実際に増えていたりとか、認可保育園だったり、認証保育園もかなりやっぱり遅い時間、延びて、あとは最近は企業のほうが遅い時間まで勤めてもらうのにうちで預かりますよという需要があるところで、そういったちょっと需要バランスを考えていただいて、それの上でもう一度ご検討していただきたいなと思っております。